

## 厚生委員会

市の福祉健康部(福祉、健康、医療)、環境生活部(生活、環境、ごみ)、まちづくりプロジェクト推進室のごみ処理センター建設事業に関する事項に対応する委員会です。

◎高橋 誠 ○近藤吉一郎 岡田康弘 岡安謙典  
齋藤弘道 松本義隆 美見みち子 山本睦夫

今期定例会において、当委員会付託の議案十七件、報告一件、今議会提出の請願一件を審査した。まず、「一般会計予算」は、ごみ処理、住基ネット、保育料、乳幼児医療費等種々質疑や意見が出されたが、採決の結果、賛成多数で可決した。

次に、「国保特別会計予算」は、保険料、減免制度等種々質疑や意見が出されたが、採決の結果、賛成多数で可決した。

次に、「老人保健特別会計予算」は、高齢者の負担増に反対との意見が出されたが、採決の結果、賛成多数で可決した。

次に、「介護保険特別会計予算」は、制度の改悪に反対との意見が出されたが、採決の結果、賛成多数で可決した。

次に、「一般会計補正予算(第六次)」は、賛成多数で可決した。

次に、議案第二百二十二号、第二百二十六号、第二百二十八号、第二百四十三号、第四百四十四号から第四百四十六号、及び第四百六十三号から第四百六十七号は、審査の結果、全員一致で可決した。

次に、市長が専決した報告「一般会計補正予算(第五次)」は、審査の結果、全員一致で承認した。

次に、請願「中学校卒業までの子どもの医療費の無料化を求める請願書」については、採決の結果、賛成少数で不採択とした。

### 日程

平成十八年八月二十一日(月)～  
二十三日(水)

### 視察場所と内容

北海道釧路市

●自然番人宣言について

●地域包括支援センターについて

北海道帯広市

●リサイクル・産業廃棄物処理について(株)ウィンクリン、くりんセンター)



釧路市では、ごみのポイ捨てや廃棄物の不法投棄を撲滅するため「自然番人宣言」を広域の共同

事業として策定している。今後、地域が一体となり住民との協働を通じて、意識啓発を図り、抑止力を高めていきたいとのことであった。この宣言を形骸化させないためにも、今後定期的に検証を行っていく必要があると感じた。

また、帯広市では、ごみ焼却施設を視察した。全量焼却のための三炉方式を採用しており、一日三百三十トンものごみを処理しているとのことであった。国内初の最新システムを導入した施設であり、ごみの適正処理に係る様々な工夫も行われていた。さらに、同施設内には、公園や学習施設も併設されており、住民が楽しめる憩いの場としての役割も果たしており、まちづくりの拠点施設として有意義に機能していると感じた。今後津山市の喫緊の課題であるごみ処理場建設に向けて、大いに参考になった。

◎ 政治家に対し、寄付を出すように勧誘や要求することは禁じられています。